

の偏りを，シミュレーションにより確認した。最後に，実際の癌臨床試験のサイズを推定した。

**D-2 無作為化臨床試験における共変量の不均衡が  
ログランク検定のサイズに与える影響**

九大・医 絹川直子\*  
長崎大・環境科 中村剛  
新潟大・医 赤澤宏平  
九大・医 野瀬善明

臨床試験において2群への層別化無作為割付が行われた場合，層別化に用いられなかった予後因子は層内の患者に不均一を生じる。この不均一によって生ずる群間の不均衡の程度を示す「不均衡指数V」を，対数相対ハザードの分布を用いて定義した。不均衡指数Vに応じた層別ログランク検定のサイズ